にじの空通信

ここ数日めっきり寒くなり、体調を崩す人が増えてきました。インフルエンザも流行っていますが、メンタルも、毎年恒例のことながら、この季節はつらい方が多いです。日も短くなり、なんとも心細い雰囲気になります。でも空気に透明感があって、私はこの寂しい感じは嫌いではありません。

さて、個人情報漏洩が毎日のように報道されていますね。私もしっかり被害者になりました。某カーシェアの会社から、「あなたの免許証の写しが漏洩されました」というメールが来たのです。日頃から「便利は危険」とことあるごとに思っていたので、この時も直後は（ほらあ、やっぱり便利は危険だよね）と確信に至ったのですが、さてどうしたものか。

AI に聞くと、自分の名前をかたって借金をされないように、各種信用機関に自己申告しろと言います。また（会社から 2 週間程度で詳細な情報が来るとありますから待ちましょう）と悠長なことを言っている。何百万人もいるのに、たった 2 週間で情報が来るとは思えないぜ！AI、お前は甘い。とぶつぶつ言いながら、とりあえずその信用機関とやらに申告しようじゃねーかと取り組むことにしました。

申告には、各アプリをインストールして、当然ながらさらにそこに個人情報を入れることになり、またマイナンバーカードの何とかいうパスワードがわからないので、それを得るためにまたさらにアプリを入れ、顔写真まで送るのです。何重にも個人情報を記入して送ることに、そもそもこれは大丈夫なのかと疑いつつも、選択肢はほとんどないのでやるしかないのです。

やっているうちに、だんだん自分が記号化して、情報だけで構成されている変な感じを覚えました。「脱人格化」ってこういうことなのかと思いつつ、手元の免許証の写真をまじまじ見ると、その時は髪をセットして行ったつもりが、寝ぐせみたいにはねまくっていて、もらったときがっかりしたのを思い出しました。よし、とその日のうちに免許センターに行って、髪をしっかり梳かして再発行してもらいました。写真は前よりましになりました。そして警察署にも電話して、相談記録を残しました。

とりあえずやるだけのことはやったと妙な達成感がありましたが、一体今後自分の免許証がどんな行く末をたどるのか。どこか裏路地の秘密の部屋に、悪いやつらが集まって、「この髪のはねた日本人のおばさんのふりをして、金を借りよう」と相談してたりするのだろうか。もう未知の世界です。

私たちは、情報というジャングルのなかを、手探りで生きているようです。サバイバルするには無傷ではいられないでしょう。どの時代も生きるのは大変です（最近毎回言ってますね）。皆さんもお気を付けて。

院長　大塚　佳子